

令和7年度 墨田区立菊川幼稚園 幼稚園経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 園長 谷澤 あゆみ

幼稚園教育目標	元気な子 自分で考える子 仲良く遊べる子
目指す幼稚園像	一人一人のよさを引き出し、笑顔があふれる幼稚園
目指す幼児像	○基本的な生活習慣や態度を身に付け、自立をめざして生活が送れる子 個や集団での運動遊びを行い、積極的に体を動かせる子 ○善悪の判断や自己抑制を身に付け、自分で考えて行動できる子 ○相手に対しての思いやりの心もち、一人一人の違いを認め合える子
目指す教師像	○専門職としての自覚をもち、謙虚に学び続ける教師 ○幼児・保護者とい関係築き、親身に接することができる教師 ○「子供のためになるか」を評価尺度にし、協働し誠実な幼稚園運営を進める教師

○令和7年度 幼稚園経営計画における重点内容
①社会で生きる力（非認知能力）の育成
②人への信頼感、共感の醸成
③自分の思いや気付きを表現する力の育成

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
保育活動等	幼児の主体的な活動を促す教育を実施する。	①園内研究、区幼研における幼児の主体性を育む研究を推進する。 ②できる事が増える経験を積み重ね自己表現・言語活動を促す。	4 園内研究・区幼研での協議会参加状況 90%以上	4	4 保護者アンケートでの肯定的評価 90%以上	4	自分で遊ぶ遊び、友達と協働する遊びを組み合わせ楽しさを実感できるカリキュラムを実施できた。体育的活動・創作的活動では達成感を多く味わわせることができた。	次年度は園児が少ないことを考慮して、年間計画に体験的活動を多く盛り込むとともに、園児の思いを反映できるようにゆとりのある計画とする。	A	A	・概ねよい。
			3 園内研究・区幼研での協議会参加状況 80%以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価 80%以上						
			2 園内研究・区幼研での協議会参加状況 70%以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価 70%以上						
			1 園内研究・区幼研での協議会参加状況 70%未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価 70%未満						
	特別な支援を必要とする幼児に対しての、組織的な支援等を行う。	①全教職員で園児の特性や支援の方向性を共通理解し、実践する。 ②巡回相談での外部講師の指導を生かし、個別の支援計画に基づいた支援を行う。	4 外部講師による巡回相談の実施状況 100%	4	4 当該幼児の支援目標の達成状況 90%以上	4	対象児の特性を教職員が深く理解し、柔軟に対応することができた。友達と仲良く活動することが出来るよう丁寧な保育を進めていく。	他の園児、保護者にインクルーシブ教育の理解を仰ぎ、多様性を認めた教育を実施していく。	A	A	・担任と介助員、支援員の連携がよく取れていて特別な支援を必要とする園児へのケアが行き届いている。
			3 外部講師による巡回相談の実施状況 90%以上		3 当該幼児の支援目標の達成状況 80%以上						
			2 外部講師による巡回相談の実施状況 80%以上		2 当該幼児の支援目標の達成状況 70%以上						
			1 外部講師による巡回相談の実施状況 80%未満		1 当該幼児の支援目標の達成状況 70%未満						
	人とかかわる力を育む教育を実施する。	①集団遊びや学級全体で体を動かす遊びに取り組ませる。 ②年長、年少の合同保育、小学生との交流の実施。	4 合同保育・交流活動の実施状況 年6回以上	4	4 保護者アンケートでの肯定的評価 90%以上	4	異学年交流や、近隣の公立幼稚園、私立保育園、小学校児童との交流活動を多く行った。とうきょうすくわくプログラムで多様な体験活動を実施することが出来た。	次年度も、交流活動を計画的に行い、人とかかわる力の育成に力を入れていく。	A	A	・小学校や他の幼稚園、保育園との交流が盛んに行われ、併設園のよさが感じられる。
			3 合同保育・交流活動の実施状況 年4回以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価 80%以上						
			2 合同保育・交流活動の実施状況 年3回以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価 70%以上						
			1 合同保育・交流活動の実施状況 年3回未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価 70%未満						
生活指導等	基本的生活習慣・社会習慣を身に付ける取組を実施する。	①着替え、片付け、食事、排泄などが自主的にできるように支援する。 ②挨拶や返事を通して社会習慣を身に付ける。 ③規範意識や自分の感情を調整する力を育成する。	4 基本的生活習慣の定着度 80%以上	4	4 園内での達成状況 90%以上	4	登園後の荷物の整理、遊んだ物の後片付け、着替えや排せつなど、基本的生活習慣を丁寧に指導することができた。友達への言葉かけや協力する行動が身に付いてきた。	状況を判断したり、先生の指示を聞いて行動したり、集団生活に必要な規律を理解できるように継続指導していく。温かな言葉掛けを大切にしている。	A	A	・基本的生活習慣は幼稚園だけでなく、家庭との連絡や相談がなければ定着しない。その点ではよく連携が取れていると思う。
			3 基本的生活習慣の定着度 60%以上		3 園内での達成状況 80%以上						
			2 基本的生活習慣の定着度 50%以上		2 園内での達成状況 70%以上						
			1 基本的生活習慣の定着度 50%未満		1 園内での達成状況 70%未満						
	危険回避能力の育成や幼児の安全を確保するための取組を実施する。	①月1回の避難訓練を小学校と合同で実施する。 ②廊下歩行や保育室での安全にかかわるルール作りと園児による自己評価を行わせる。	4 避難訓練・安全指導の取組状況 100%	4	4 園児からの聞き取りでの適切な回答 90%以上	4	小学校と合同の避難訓練を計画通り実施した。園内での行動において危険な行動を判断できるように、行動の見通しをもつための声掛けを継続してきた。	危険な行動。人の心を傷つける言葉については、園児が理解できるように丁寧に指導していく。	A	A	・小学校との合同で避難訓練を行っていることで幼稚園児にも良い学びがあると思う。
			3 避難訓練・安全指導の取組状況 90%以上		3 園児からの聞き取りでの適切な回答 80%以上						
			2 避難訓練・安全指導の取組状況 80%以上		2 園児からの聞き取りでの適切な回答 70%以上						
			1 避難訓練・安全指導の取組状況 80%未満		1 園児からの聞き取りでの適切な回答 70%未満						
	①人権教育に基づいた心の教育を推進する ②一人一人のよさや可能性を引き出す多様な体験の充実	①個々のよさを認める声掛けや個を大切に誕生会などの行事の実施 ②外部講師を招いての体験的活動の実施（菊川太鼓・英語活動・体操・サッカー・ボール投げ）	4 体験的活動の実施状況 毎月4回以上	4	4 保護者アンケートでの肯定的評価 90%以上	4	季節に応じた制作活動で情操を育てると共に個々の作品を褒め、大切に扱うなど人権に配慮して保育にあたった。誕生会はかけがえのない自分を感じさせる機会となった。	運動に関する出前授業や園児の工夫を生かしたこともまつりなどを体験してきた喜びや上達の実感を味わわせることが出来た。	A	A	・東京都すくわくプログラムを活用して大いに体験的活動を取り入れてほしい。
			3 体験的活動の実施状況 毎月3回以上		3 保護者アンケートでの肯定的評価 80%以上						
			2 体験的活動の実施状況 毎月2回以上		2 保護者アンケートでの肯定的評価 70%以上						
			1 体験的活動の実施状況 毎月2回未満		1 保護者アンケートでの肯定的評価 70%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・運営を行う。	学級経営案や週毎の指導計画を共有し、計画的・組織的な教育活動を実施する。	4	教員の自己評価で指導のねらいの達成状況90%以上	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	園の経営方針や、運営に関する工夫を保護者に説明してきた。一人一人を大切にすることを理解していただけた。	保護者の会主催の行事に関して、保護者の意向を大切にしつつ、保育のねらいと合致するよう丁寧に説明を行い理解を求めていく。	A	A	・閉園まで残り少ないが、今の教育方針を維持してほしい。 ・区として質の高い教育の継続をお願いする。
			3	教員の自己評価で指導のねらいの達成状況80%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上					
			2	教員の自己評価で指導のねらいの達成状況70%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上					
			1	教員の自己評価で指導のねらいの達成状況70%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満					
園の管理運営	施設点検・環境整備によるけがの防止、不審者侵入の危機回避に努め、万が一の事態に備えて緊急対応体制を整える。	①年間計画に基づいた安全指導・安全点検を行う。 ②不審者侵入を防ぐための学校管理員による常時監視を行い、緊急対応マニュアルの作成による緊急体制を整える。	4	施設点検・環境整備の取組状況100%以上	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	安全・安心を重視し、施設の状態や保育中の事故防止に細心の注意を払ってきた。他の小学校での不審者侵入を受け、来援者への警戒を強化することができた。	不審者侵入の危機に備え、今後も一層の警戒を行っていく。保育中の怪我、体調不良はすぐに対応し、確実に保護者に連絡を行っていく。	A	A	・不審者侵入防止対策を墨田区と連携して進めてほしい。
			3	施設点検・環境整備の取組状況90%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上					
			2	施設点検・環境整備の取組状況80%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上					
			1	施設点検・環境整備の取組状況80%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満					
教職員のライフワークバランスの支援を行う。	①会議の短時間実施や業務の効率化、ICTの活用を進め、平均残業時間の削減を行う。 ②年次有給休暇の取得を奨励する。	4	全教員の超過勤務が月45時間以内	4	4	教員の平均年休取得日数 18日以上	見通しをもった行事の準備を進め、園行事を進行することが出来た。感染症の拡大防止に配慮し、教員の健康管理にも配慮する。	会議の短時間実施を今後も継続する。学級減に伴い、担任の人数減もあるため、支援員との役割分担も明確にしていなければならない。	B	A	・少ない人数での運営であることは十分承知しているが、教員の働き方改革を積極的に進めてほしい。	
			3		全教員の超過勤務が月45～50時間	3						教員の平均年休取得日数 15～17日
			2		全教員の超過勤務が月50～55時間	2						教員の平均年休取得日数 12～14日
			1		全教員の超過勤務が月55時間以上	1						教員の平均年休取得日数 12日未満
教育目標、幼稚園経営方針を分かりやすく伝える取組を行う。	年度初めの保護者会において、教育目標、経営方針について保護者に丁寧に説明する。	4	園経営方針等の発信に関する取組状況 80%以上	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	年度初めの保護者会の他、毎月の保護者の会役員会において、保育の進行状況を伝えてきた。活動のねらいなどはよく理解していただけた。	幼稚園教育の仕組みや本園の保育の工夫やよさを保護者会や行事の折に話し、理解を仰ぐ。教員研修についても説明を行っていく。	A	A	・概ねよい。	
			3		園経営方針等の発信に関する取組状況 70%以上	3						保護者アンケートでの肯定的評価80%以上
			2		園経営方針等の発信に関する取組状況 60%以上	2						保護者アンケートでの肯定的評価70%未満
			1		園経営方針等の発信に関する取組状況 60%未満	1						保護者アンケートでの肯定的評価70%以上
保育の様子を発信し、安心して幼児を預けられる情報提供を行う。	保育参観・保護者参加型の参観、園だより、学級通信、ホームページでの情報発信、ドキュメンテーションを活用した毎日の保育報告で園児の活動の様子を知らせ、理解と協力を得られるようにする。	4	ホームページの更新回数 週2回以上	3	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	毎日降園時にその日の保育について、担任から説明を行った。活動の様子をドキュメンテーションの画像で公開した。	ドキュメンテーションでの情報発信の頻度を増やす。保護者の要望に応え、保育中の写真の提供を相談しながら行っていく。	B	A	・保育参観や参加型の行事の回数・内容を継続してほしい。	
			3		ホームページの更新回数 週1回以上	3						保護者アンケートでの肯定的評価80%以上
			2		ホームページの更新回数 隔週1回以上	2						保護者アンケートでの肯定的評価70%以上
			1		ホームページの更新回数 隔週1回未満	1						保護者アンケートでの肯定的評価70%未満
未就学児の会の充実を図り地域への発信を強化する。幼保小中連絡協議会に参加し、幼小の円滑な接続を目指す。	①週1回の未就学児の会を継続開催し、幼稚園教育の魅力を発信する。 ②就学までに育てたい10の力の育成を図るとともに、幼保小中連絡協議会での情報共有を行う。	4	未就学児の会の実施回数 年間25回以上	4	4	就学までに育てたい10の力の定着度70%以上	未就学児の会を年間計画に沿って31回実施し、園教育の魅力を発信してきた。幼保小中連絡協議会では保育に関する発信を積極的に行い地域の幼児教育の推進役を担った。	次年度の年度末で、廃園の運びであるが、未就園児の会については、無理のない範囲で実施していく。	A	A	・概ねよい。	
			3		未就学児の会の実施回数 年間20回以上	3						就学までに育てたい10の力の定着度60%以上
			2		未就学児の会の実施回数 年間15回以上	2						就学までに育てたい10の力の定着度50%以上
			1		未就学児の会の実施回数 年間15回未満	1						就学までに育てたい10の力の定着度50%未満

○令和7年度 幼稚園経営報告のまとめ（総括）

- ・主体的に遊び、友達との関わりをもととする園児の育成を推進することが出来た。四季折々の自然に触れ、昆虫、植物、自然事象に興味関心をもってかかわらせることが出来た。また、とうきょうすくわくプログラムに取り組み、水や光などをテーマに、科学に関する活動を経験させたり、小学校と連携し、体育的な出前授業に参加することが出来た。
- ・5園合同スポーツフェスタの他、緑幼稚園との2園合同保育、近隣の保育園との合同活動、小学校児童との交流活動など、交流活動や体験的活動を多く取り入れることができ、保育の一層の充実を図ることが出来た。